

心不全

笹生病院 循環器内科 患者様資料

心不全とは

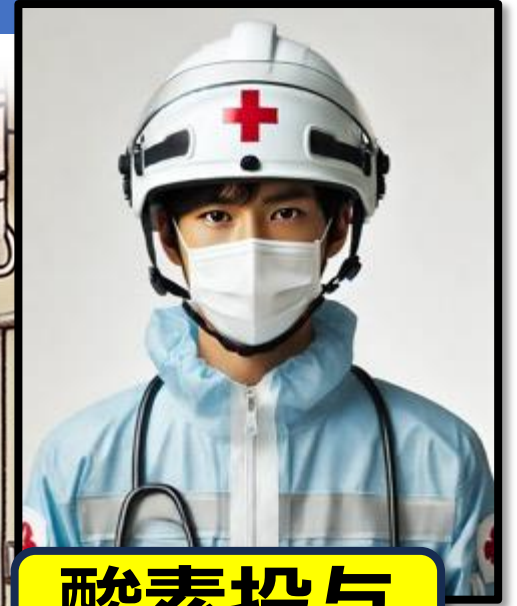
- ✓ 心臓機能の異常によって、
- ✓ 心臓の役割である血液を運ぶ「ポンプ機能」が低下して、
- ✓ 呼吸が苦しくなったり、だるい、むくみが生じ、
- ✓ 結果として、十分に活動できなくなってしまう病態

心不全の症状：救急車編

突然の呼吸苦
起坐呼吸：座っている方が呼吸が楽

手足の色が悪い
紫だったり、
青白かったり

少し手足が
むくんでいる



酸素投与

体を起こして搬送

入院 治療

心不全の症状：外来編

最近の息切れ

咳が出る

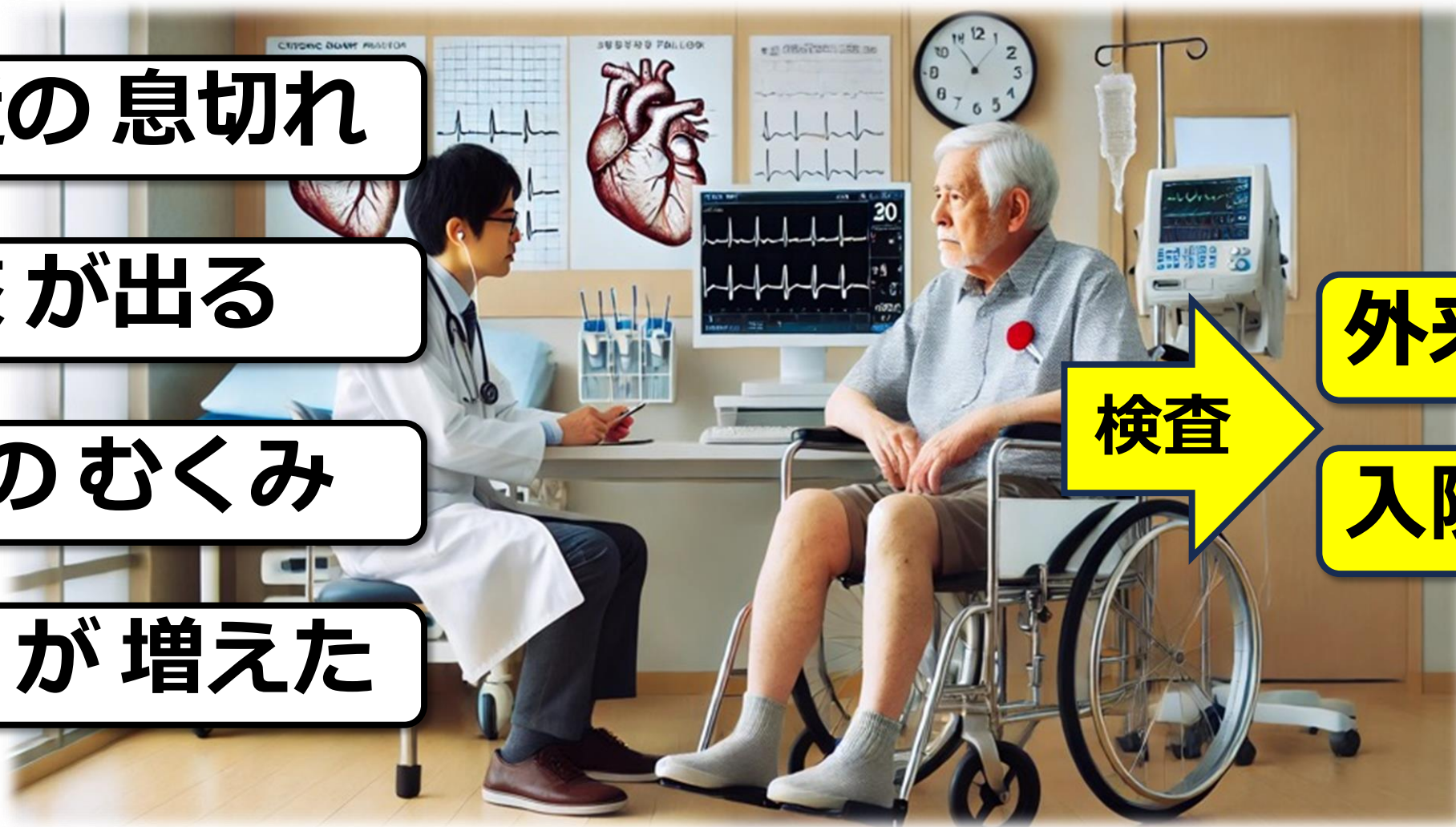
足のむくみ

体重が増えた

検査

外来治療

入院治療

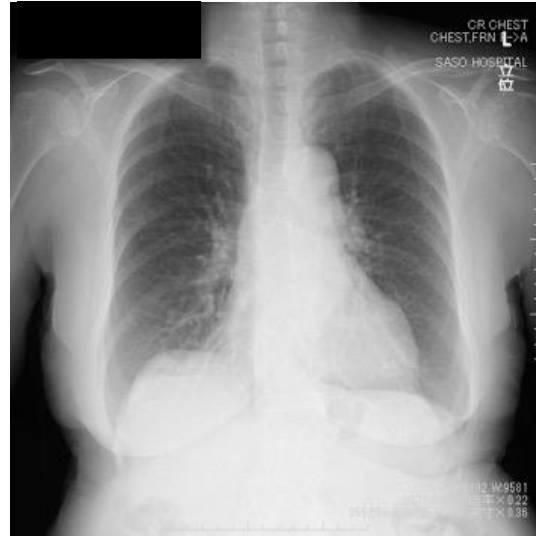


まず行う検査

採血



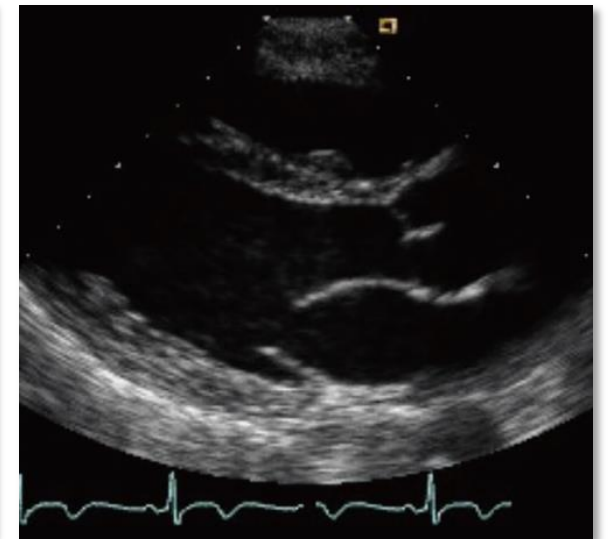
レントゲン



心電図



心エコー



- ☐ ☐ 心臓の負担
 - BNP 値
 - NTproBNP 値
- ☐ ☐ 心臓の大きさ
- ☐ ☐ うっ血の有無
- ☐ ☐ 不整脈
- ☐ ☐ 心拍数

- ☐ ☐ 収縮力
- ☐ ☐ 弁膜症

心不全の分類

心臓の収縮力の
低下した心不全
(EF<40%)

収縮力の軽度低
下した心不全
(EF40~50%)

収縮力の良い
心不全
(EF>50%)

“EF”とは心臓の収縮力（ポンプ力）の指標です
収縮力の良い心不全が、良い心不全ではありません

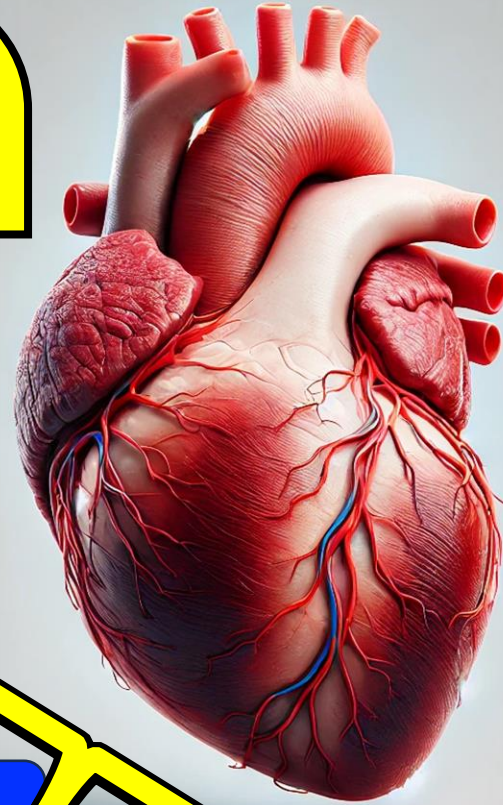
心不全の原因

血管（冠動脈）の問題

- ・ 虚血性心疾患
心筋梗塞
狭心症

両方の問題、その他

- ・ 不整脈（心房細動）
- ・ 弁膜症



筋肉（心筋）の問題

- ・ 心筋症
高血圧によるもの
拡張型心筋症
肥大型心筋症
特殊な心筋症
 - ・ サルコイドーシス
 - ・ アミロイドーシス 等
 - ・ 薬剤によるもの

入院の流れ



外来から入院



✓ 内服薬調整

✓ リハビリ・指導



状態により
カテーテル検査

退院

0 日目

1～3 日目

4～10 日目

11～14 日目



救急外来から入院



重症例 ICU数日間

✓ 人工呼吸器

✓ 酸素療法

✓ 点滴（降圧、利尿）



病状説明と今後

心不全 治療の目的



**生活の質
の改善**



**生命予後
の改善**



**心機能
の改善**

3つの大きな目標があって、どこを重視した治療を行っていくかは主治医とよく相談しましょう

心不全の治療（概略）

血管（冠動脈）の問題

筋肉（心筋）の問題

不整脈・弁膜症

全ての心不全に薬物療法を行います（次ページ）
その上で下記の追加治療を検討します



血液サラサラ

抗血小板薬

カテーテル治療

風船・ステント留置等

バイパス手術



疾患によっては
特殊な薬物療法



血液サラサラ

抗凝固薬

カテーテル治療

アブレーション、弁留置等

弁膜症手術

心不全の薬物療法

利尿剤



- ✓ フロセミド
- ✓ アゾセミド
- ✓ スピロノラクトン
- ✓ トルバプタン 等

心保護（ベータ遮断薬）



- ✓ カルベジロール
- ✓ ビソプロロール

心保護・降圧（RAS系阻害薬）



- ✓ サクビトリル・バルサルタン
（商品名 エンレスト）
- ✓ カンデサルタン
- ✓ テルミサルタン
- ✓ エナラプリル 等

その他（SGLT2阻害薬 等）

SGLT2阻害薬

- ✓ ダパグリフロジン
（商品名 フォシーガ）
- ✓ エンパグリフロジン
（商品名 ジャディアンス）

その他

略